

南九州・沖縄ブロック  
在宅医療連携拠点事業報告会



連携を支える  
玉名のい・き・か・た

平成25年 2月3日

玉名郡市医師会  
玉名地域保健医療センター



一般社団法人玉名郡市医師会立

玉名地域保健医療センター

私たち医療センターは、地域医療の発展に貢献していきます。

# 玉名郡市のご紹介



人口:約11万人  
高齢化率:約36%~26%  
要介護認定率:20%~25%  
※日本全体の10年先を走っています?



- ☆ 圏域内でも在宅医療を巡る環境に大きな違いがある。
- ☆ 圏域でも診療所数や施設の数に隔たりがあり、住民も生活圏域が違う
- ☆ 訪問診療や訪問看護は他地域と比べ充実している

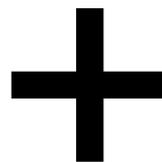
**拠点事業があったから気づけた  
大切なこと**

## 顔が見える関係

顔がわかる  
関係

顔の向こう側が  
見える関係

信頼できる関係



学び合える関係

共感し合える関係

# 連携を支える関係

い

言っている

き

聞いている

か

かたっている

(九州弁で仲間に入るという意)

た

玉名の連携



## 顔が見える関係

顔がわかる  
関係

顔の向こう側が  
見える関係

信頼できる関係

+

学び合える関係

共感し合える関係

# 連携を支える

い

言っていていい

き

聞いていい

か

かたっていていい

(九州弁で仲間に入るという意)

た

玉名の連携



**いきかた**

という

関係から産まれたもの



**現場のための  
「アクション」**

# たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

# 連携の具体的なアクションとして

連携を支える

い  
き  
か  
た

言っている

聞いていい

かたっている

(九州弁で仲間に入るという意)

玉名の連携



たまな  
在宅ネットワーク  
定例カンファ  
毎月第1月曜

# たまな在宅ネットワークの特徴1

★ **強化型在支診・在支病（ネットワーク型）**

★ **自主的な組織である**

★ **在宅多職種ネットワーク**

在支診・在支病のネットワークにとどまらない

医師・訪問看護・病院看護・PT・OT・ST・訪問薬剤師

病院薬剤師・MSW・ケアマネージャー・介護福祉士

ホームヘルパー・社会福祉士

（今後は歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士も）

★ **参加の敷居を低くしている**

### ★ 学び合う「場」である

ケースカンファレンスの他に、勉強会も。

### ★ 飲みニュケーション有り

月例カンファレンスのあとは「かわせみ」へ

### ★ ローテクでローコストIT化

患者情報の共有化はローテクな方法で

(既存の書類をFAXしてもらい、入力の二度手間が不要。高いITリテラシーは必要ない)

・多職種連携にICTは有効。

しかし、ハイテク過ぎると  
2度書き、費用、ITリテラシー

⇒敷居が高い

# ローテク・ローコストITが素晴らしい

どんな通信手段でもICTできるために

たまな在宅ネットワークが活用する「cybozu kintone」

FAX

メール

手書き

電話



連携を支える

# い・き・か・た という関係から

い  
き  
か  
た

言っている

聞いている

かたっている  
(九州弁で仲間に入る)

玉名の連携

たまな在宅ネットワークは  
単なる情報共有の  
手段だけではなくなった

# たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

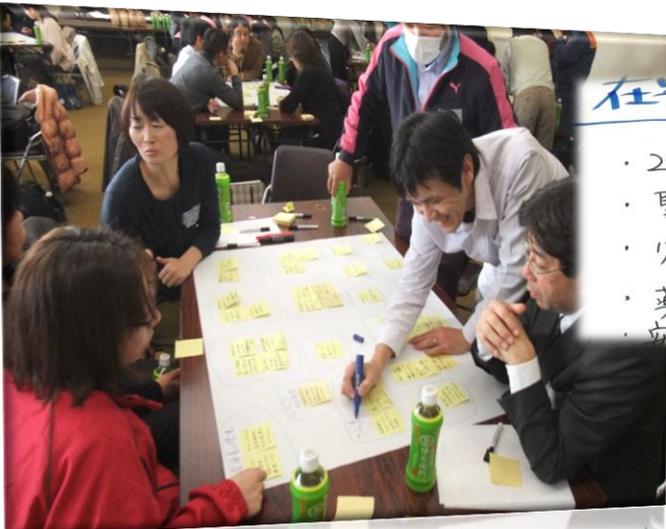
# ・一方通行のプログラム

満足感は得られても

「現場」には

つながらないかもしれない

# 双方向・参加型の「場」



## 在宅医療のしくみ

- ・ 24時間
- ・ 緊急時
- ・ リハビリ
- ・ 薬局
- ・ 歯科
- ・ 病院(微支援)
- ・ 終末期の把握
- ・ 栄養
- ・ 疼痛緩和

## 在宅医療のしくみを充実

リハビリ、緊急時、24時間

## 患者の思いを共有

## 介護サービス

- ・ 移送・搬送
- ・ 看取りができる介護施設
- ・ 予防サービス

## 患者、家族の思いを共有

- ・ 本人の意思と尊重
- ・ 相談窓口
- ・ 家族の不安 ← 家族の支援
- ・ 安心して暮らせる取り組み
- ・ インフォーマルな支援
- ・ 地域コミュの取り組み
- ・ 看取り

## 連携



## 制度

- ・ 保険のしほり
- ・ 看医師配置
- ・ 利用者にとってわかりにくい
- ・ 見直し
- ・ 書類が多い
- ・ インフォーマルサービスの活用



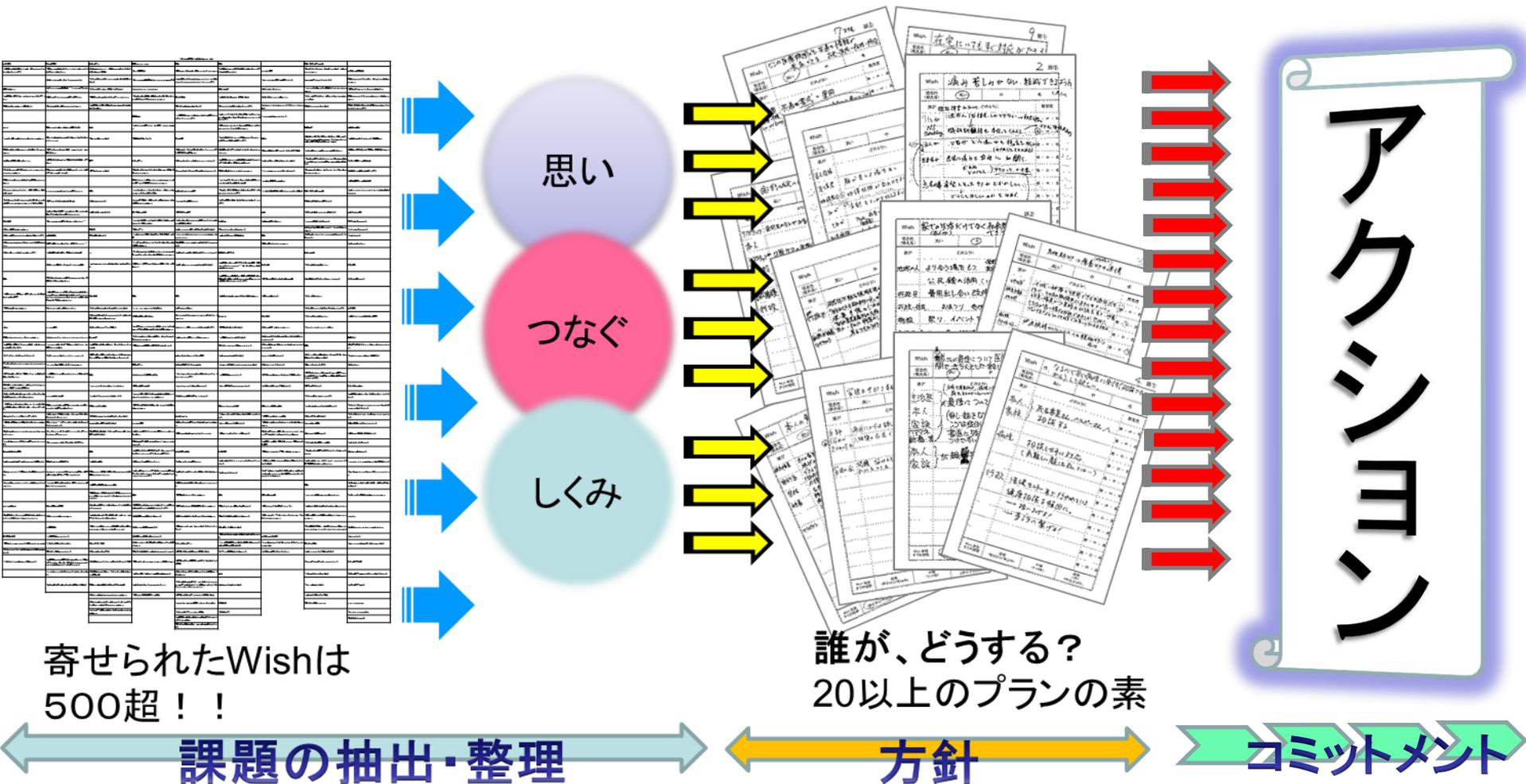
- ・高揚感は得られたが、  
「現場」につながらない・・・

# 課題抽出から「アクション」の場へ

## 「たまな在宅医療・療養を考えるWish Poem」

《参加者》

医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護・中核病院連携室・MSW・ケアマネ  
セラピスト・施設関係・障害関係・管理栄養士・救急救命士・行政 他 70数名



# 双方向・参加型の「場」

6月8日  
第2回医療と介護の  
連携研修会



7月12日  
薬剤師・介護支援専  
門員 合同研修会



4月16日  
多職種参加の  
拠点事業意見交換会



7月31日  
9月16日  
たまな在宅医療  
連携協議会



多職種協働の実践  
チーム玉東  
(デスクンファ運営委員)





い  
き  
か  
た

言っている

聞いている

かたっている  
(九州弁で仲間に入るという意)

玉名の連携

という関係を意識して

「講演会・研修会・集会」は  
いつも双方向で参加型

たまな在宅ネットワーク

双方向・参加型の「場」

NPOや任意団体との協働

・あると便利？

(マップ・情報共有シートなど)

でも

内容と活用が実用的か  
と問われると...

「現場」で使ってもらえない

玉名では、

すぐに「現場」で活かせる  
人材育成

に着目！

## 食支援を通じた NPOとの協働

- ★ 介護の**現場**へ出前講座
- ★ 在宅関係職種向け「**現場**を変える」企画



## たまな在宅ネットワークとの協働

- ★ 「医師とのコミュニケーション講座」
- ★ 知らないことを教え合う、「たまな在宅塾」
- ★ たまな的 「ケアマネになろう！」企画



## 地域の団体との協働

- ★ 有明摂食・嚥下研究会  
(医科・歯科・介護多職種勉強会)
- ★ 薬剤師会  
(訪問薬剤師推進勉強会・多職種勉強会)
- ★ 介護支援専門員会  
(医療・介護勉強会)

県市町村 行政とも  
協働を模索中



い  
き  
か  
た

言っている

聞いている

かたっている  
(九州弁で仲間に入るという意)

玉名の連携

という関係を通じて

**「現場」につなげる！  
協働ができる！**

# 在宅医療のシンクタンクとして

「い・き・か・た」  
という関係の場



たまな  
在宅医療  
連携協議会

いきててよかった  
住んでいてよかった  
たまなの実現

住民  
行政  
団体

発信  
・  
啓発

アクション

在宅医療の  
「現場」充実

## これからも

- ① 「い・き・か・た」という  
関係を大切にしていきます
- ② 「現場」のために  
「アクション」を起こしていきます



# 連携を支える 玉名のい・き・か・た

ご清聴ありがとうございました



一般社団法人玉名郡市医師会立

玉名地域保健医療センター

私たち医療センターは、地域医療の発展に貢献していきます。